

様式1-2

行動面のチェックリスト		
(0:ない,もしくはほとんどない 1:ときどきある 2:しばしばある 3:非常にしばしばある)		
領域	項目	評価
不注意	学校での勉強で、細かいところまで注意を払わなかったり、不注意な間違いをしたりする	0, 1, 2, 3
	課題や遊びの活動で注意を集中し続けることが難しい	0, 1, 2, 3
	面と向かって話しかけられているのに、聞いていないように見える	0, 1, 2, 3
	指示に従えず、また仕事を最後までやり遂げない	0, 1, 2, 3
	学習課題や活動を順序立てて行うことが難しい	0, 1, 2, 3
	集中して努力を続けなければならない課題（学校の勉強や宿題など）を避ける	0, 1, 2, 3
	学習課題や活動に必要な物をなくしてしまう	0, 1, 2, 3
	気が散りやすい	0, 1, 2, 3
	日々の活動で忘れっぽい	0, 1, 2, 3
多動性 — 衝動性	手足をそわそわ動かしたり、着席していてももじもじしたりする	0, 1, 2, 3
	授業中や座っているべき時に席を離れてしまう	0, 1, 2, 3
	きちんとしていなければならない時に、過度に走り回ったりよじ登ったりする	0, 1, 2, 3
	遊びや余暇活動におとなしく参加することが難しい	0, 1, 2, 3
	じっとしていない。または何かに駆り立てられるように活動する	0, 1, 2, 3
	過度にしゃべる	0, 1, 2, 3
	質問が終わらない内に出し抜けに答えてしまう	0, 1, 2, 3
	順番を待つのが難しい	0, 1, 2, 3
他の人がしていることをさえぎったり、じゃましたりする	0, 1, 2, 3	

<評価規準>

- ・「不注意」の設問群または、「多動性—衝動性」の設問群の内、少なくとも一つの群で該当する項目が6ポイント以上であれば、行動性の困難（「不注意」「多動性」「衝動性」）が疑われる。
ただし、回答の0、1点を0点に、2、3点を1点にして計算。